

SDGsへの取り組み 子どもの貧困対策セミナー

「人並みに生きる・ 子供を支えるために何ができるか」

日時:2020年7月28日
時間:午前10時50分～11時50分
場所:JTB宇都宮支店様 会議室

NPO法人 自動車流通市場研究所
理事長 中尾 聡
〒323-0024 栃木県小山市宮本町3-3-8
TEL.0285-39-7005/Fax.0285-39-7006
<https://www.admri.or.jp/>



【はじめに】

私は5年前に、自分の身近なところで、貧困やネグレクトで虐待を受け、まともな食事も与えられず、毎日着古した洋服を身にまとい、入浴や歯磨きなどもしたことがないという子供たちの存在を知り、大変驚愕しました。

そこで、昨年11月にNPO法人を立ち上げ、このような子供たちが少しでも人並みの生活ができるように微力ではありますが、活動をしています。

わずか、1年にも満たない活動ですが、そこで感じたことは、私自身がそうだったように、事件で知る痛々しい子供の存在は知っていても、その予備軍となってしまう子供たちが意外にも多く身近なところに存在していることは、知らされていないと言う事実でした。

しかし、知っていただき、その輪が広がっていくと、子供たちを支える大きなパワーになることも実感しました。

是非、今日この機会に、貧困に喘ぐ子供たちの実情を知っていただき、そういう子供たちに目を向けていただければ大変有難いと思っています。

宜しく願いいたします。

【負の連鎖を断ち切るには】

SDGs 17の目標の最初に取り上げられているのは、「貧困をなくそう」です。そういった意味でも今、子供の貧困対策は世界的に喫緊の課題だと言えます。

しかし現実的には、なかなか難しい状況にあります。実際にこのような子供たちが、高校に進学したとしても、卒業できる子供は少なく、ほとんどが中退してしまいます。それは学力の問題ではなく、貧困によるものです。学費は無償化されていますが、制服や教材費、部活費用、修学旅行費用などが工面できず挫折してしまいます。そうすると夢や目標というのが抱けなくなり、諦めてしまい、その後は同じような境遇の子供と結婚し、生まれた子供はまた貧困に喘ぐと言う負の連鎖が続いていきます。

そういったことから当法人は、義務教育以降の就学支援や、夢や目標となる職業に就くための就業支援をしていきます。

皆様におかれましても、このような苦しい状況の中で修学旅行に参加している子供たちがいることを知っていただければと思います。また修学旅行は子供たちの人生において、重要なイベントです。仲間との触れ合いや旅行先での経験や出会い、さらに皆様の働きぶりをみて、「将来はJTBの社員になる」と明確な目標を抱く子も出てくるでしょう。それも大きな支援になります。

頭の片隅にでも良いので、是非そのような意識を持って、子供たちと接していただければ、大変有難いと思っております。

本日は最後までご清聴いただき誠に有難うございました。